

【所信】運動

【監事】篠江 竜一

私は青年会議所の新入会員研修の中で腑に落ちることがありました。それは、「青年会議所の運動とは箱を作ることではない」と、講師としてお招きした歴代会頭が発した言葉です。青年会議所では「活動」と「運動」を使い分けます。活動とは会議や事業に参加する行為を指します。そして、運動とは特定の人や集団の考えと行動を変えるために集団で行動すること定義しています。

公益社団法人所沢青年会議所に在籍してから 8 年目を迎えました。過去を振り返って考えてみれば何が運動だったのか、どのような運動がまちにとって効果を発揮していたのか思い起こすことがあります。これからの青年会議所は必要とされる団体ではなく、評価される団体にならなければ組織としての成長に陰りが生じるはずです。

当会は昨年創立 60 周年から新たな 1 年目を迎えることができました。常に変化する時代の中で組織が存在し続けるためには、まちに運動を起こすのではなく、地域課題に運動を起こすことで、まちと共に成長できる組織になると確信しています。

私は今年度、監事の職を預かる身として青年経済人としての品格をもち続け、予算の適切な執行が行われているか会計監査、業務監査を滞りなく遂行し、地域課題に取り組む組織の発展に寄与できるよう邁進していく所存でございます。